



- 10 先を見つめる。未来の車。112台
4年ぶり「札幌モビリティショーアップ2024」
11 「イオノ北海道」「セレブレイツスーツ」発表会
CM出演の木村愛里さんが披露
12 札証の年間功労賞にシステム開発の「GSI」
障がい者就労支援の社会貢献も評価
13 札幌商工会議所の会員表彰
14 永年会員1132社、SDGs経営34社
15 札幌青年会議所スローガンは「Devotion」
佐藤昂紀理事長「愛と夢溢れるまち札幌の創造」を
P.M.F活用に1,000万円寄付
東原俊郎太陽グループ会長に感謝状
16 新党大地・鈴木宗男代表
今年初の「大地塾」で「裏金議員」にカツ!
17 北広島FMマイペールでひな祭り公開録音
18 日ハム開幕戦オーダー予想も!
19 沼田町が道内の自治体で唯一の「トイレトレーラー」を被災地へ

8 春日崇志のカメラ風土記④ 神戸から淡路島を歩く（兵庫県神戸市、淡路市）
140 北海道百年記念塔設計者の井口健さんを偲ぶ会が1周忌に厚別区で開催

90 札幌から能登半島へ支援物資届ける
被災地の感染・臭気対策に貢献
次亜塩素酸水溶液普及促進会議



道民雑誌 ノリテイ

3
2024

●長期連載（348）

（北海道）国會議員32人の活動報告

●私、海を渡つてきました（17）
ウズベキスタン出身アスカルベコラ・ラマンさん



特集
シリーズ
（再検証）⑥ 47年前の「冬季五輪」世論調査

●新ヘルスケア大百科
「乳がん、子宮がん、卵巣がんなど」女性の病気を専門医が解説する

688

- 150 サッポロビール北海道工場
「サッポロクラシック☆ツアーアップ」新設で全面リニューアル
148 帯広農高と北森カレッジ林業の人材育成で協定を締結
146 札幌で「オホーツクフェア」食と観光をたっぷり体感
147 世界遺産登録2周年
白滝遺跡群の国宝指定祝う縄文イベント大盛況

次亜塩素酸水溶液普及促進会議 札幌から能登半島へ支援物資届け 地の感染・臭気対策に貢献

被災地に支援物資を届けた次亜塩素酸水溶液普及促進会議理事の菊地匡彦ESI社長（左から2人目）
と入山俊文ディレクター（同3人目）、積み荷などを担ったあかりみらいとESIのスタッフ



▲札幌からトラックで石川県へ

次亜塩素酸水溶液の普及と正しい使い方の啓発を行う一般社団法人次亜塩素酸水溶液普及促進会

議（代表理事・越智文雄
あかりみらい社長）は1月27日、能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県七尾市と穴水町に支援物資を届けた。避難所の感染対策や臭気対策に活用されている。

次亜塩素酸水溶液普及促進会議の対応は実にスピーディーだった。地震発生から3日後の1月4日に、支援物資として次亜塩素酸水30㍑と500本のスプレーボトル、



▲2トントラックの積載スペースは支援物資で埋め尽くされた



▲あかりみらいからは、停電対策用電流制限付きドラムコードも支援物資として届けた

300台の超音波霧化器を石川県に申し出て登録。その後、現地避難所での悪臭の悩みや感染症の広がりが報道され、被災自治体に連絡したところ、「トイレの臭気対策に有効で、安全に感染対策を行えるものであれば、ぜひ送つてほしい」との要

望が寄せられ、会員会社の札幌の倉庫からトラックで搬送することになった。

石川県では、支援物資の県内への直接の持ち込みは交通渋滞等が発生する恐れから「くれぐれもご遠慮ください」とホームページで呼び掛けていた。

新潟までフェリーから陸路で現地入り

次亜塩素酸水溶液普及促進会議は国内のメーカーなどの有志で構成している。コロナ禍の2020年に発足し、「感染予防は除菌が最も効果的」と次亜塩素酸水溶液の空

はどんな状況で、何が求められているのか、その優先順位を的確に判断できるからだ。

1月25日、支援物資をあかりみらいとESIの倉庫から2トントラックに積み込み出発。当日は低気圧の影響で吹雪模様となる悪天候で、苫小牧港発新潟港行きのフェリーは臨時便に

間噴霧を広めてきた。その結果、バス会社やホテルなどの人の集まるところでは積極的に採用する施設も増えた。

しかし、その一方で一部の風評から使われる公共施設もみられる。智氏らはその安全性を粘り強く説明し続けている。同会議が力説するのは、越智氏に加え、消臭効果にも優れている点。臭いの原因となつていて成分を分解、破壊するからだ。

食堂や更衣室など室内全体が臭う場合は、超音波霧化器による空間噴霧がより効果的とされ、今回の支援物資もそれに沿う

かたちで準備した。



▲各避難施設の要所要所に超音波霧化器を設置した

▲正しい使い方と次亜塩素酸ナトリウムとの違いなどをパウチで配布した

ンバーの力を結集してきた
からこそ」

ンバーの力を結集してきたからこそ」

「一定量を搬送できた
はパウダーであること
大きい。水溶液だとと
つもない量になり、ト
ックが何台も必要にな
りますから。パウダーは
地で手軽に生成でき、
れも水
道水だ
けでは
なく雪
解け水

ど、販売価格にしておそ1500万円だ。

（菊地氏） 河川水でも可能ですが、地震発生から2月5日で5週間。石川県では現在も1万人以上が厳しい避難生活を余儀なくされている。同会議では要望があれば第2弾の支援物資の搬送も考えている。

木川河冬

変更されるアクションもあつた。往路はかなり揺れたという。

翌26日、新潟港に到着。陸路で富山県高岡市に移動し、そこで兵庫県などから参加した同会議の会員と合流。高岡に宿泊後、翌27日に七尾市と穴水町へと進んだ。

菊地氏が語る。

A photograph of three men in safety gear standing in front of a white delivery truck. The man on the left wears a dark blue vest with 'ESI' on the cap and 'JFK' on the vest. The man in the middle wears a light grey vest with 'JFK' on the cap and 'JFK' on the vest. The man on the right wears a red vest with 'JFK' on the cap and 'JFK' on the vest. The truck has 'NIPPON Rent-A-Car' and '支援物資輸送車' (Support Material Transport Vehicle) written on it.

▲富山県高岡市で本州の会員と合流し、七尾市と穴水町に向け出発



▲自衛隊給水部隊の協力で水を調達し、
その場でパウダーから次亜塩素酸水溶液を生成

被災状況は穴水町がより深刻。それゆえ役場職員の応対からも、緊張感がひしひしと伝わってき
たという。

驚きと喜び、感謝
に悪臭が転泊され
菊地氏が続ける。
「避難所には、役場職員
の方々が世話役として寝
泊りしており、その場所
はトイレの横でどうして
も臭いが気になるのです。
霧化器など支援物資の設
置にあたり、職員の方々

驚きと喜び、感謝に**すぐ**悪臭が軽減され

▲自衛隊給水部隊の協力で水を調達し、
その場でパウダーから次亜塩素酸水溶液を生成

「各避難所の要所要所に適切に設置し、使い方を説明しました。どの避難所も換気が整つておらず、空気感染の予防に大きく貢献できたと思いますが、我慢していた悪臭が軽減されたことが何よりも嬉しいという様子が窺えま



▲穴水町の支援物資物流倉庫指定場所に荷下ろしが完了



▲穴水町職員に支援物資の活用法をレクチャー